



# よむよむ

## えほんだいすき

4・5歳の子どもに読んであげたい本



### よるのねこ

ダーロフ・イブカー／文と絵 光吉夏弥／訳 大日本図書

ねこは暗いところでも目がよく見えるので、夜は一番楽しい探検の時間。暗闇の中をあちこち歩き回ります。暗い場面と色鮮やかな場面が交互に描かれ、ページをめくる楽しさが味わえます。



### こねこのぴっち

ハンス・フィッシャー／文・絵 石井桃子／訳 岩波書店

リゼットおばあさんの家で、一番小さいねこがぴっちです。好奇心いっぱいのぴっちは、いろいろな動物たちのまねをしているうちに、うさぎ小屋で眠ってしまいました。夜中に目が覚めたぴっちは怖くなり、家に帰りたく泣き出します。



### おやすみなさいおつきさま

マーガレット・ワイズ・ブラウン／さく クレメント・ハード／え せたていじ／やく 評論社

夜になると、うさぎのぼうやはベッドの中で、部屋中の一つ一つのものに、あいさつします。「おやすみ いすさん」「おやすみ とけいさん」「おやすみ ……」読み終わる頃には、静かな眠りの世界が待っていることでしょう。



### しょうぼうじどうしゃじぶた

渡辺茂男／さく 山本忠敬／え 福音館書店

消防署ののっぽのはしご車や、高圧ポンプ車、救急車は、大きなビルの火事で大活躍。でもジープを改良した小さな消防自動車のじぶたには出番がありません。ところがある時、山小屋が火事になり……。子どもたちは、じぶたの活躍を、自分のことのように喜びます。



### すいどう

百木一朗／さく 福音館書店

蛇口をひねると出てくる水道の水。降った雨が川となって浄水場に集まり、地面の下の水道管を通して家に送られます。汚れた水は下水管を通して下水処理場できれいな水となり、川へ戻ります。ふだん目にするのができない水の流れが一目でわかるかがくの絵本です。



### あるあさ、ぼくは…

マリイ・ホール・エッツ／さく まさきりこ／やく 好学社

ある朝のこと、ぼくは、農場や森で、ねこやおんどり、ぶたやうさぎなど次々に出会う動物のまねをして、歩いたり、はねたり、寝そべったりします。小さな男の子が動物になりきって遊ぶ様子を、黒一色で描く楽しい絵本です。



### かまきりのちよん

得田之久／さく・え 福音館書店

つゆ草の間から出てきたかまきりのちよん。おつよちよいのちよんは、てんとう虫に逃げられたり、ありの群れに落ちたりしますが、大きなバツをつかまえて、おなかいっぱいになりました。かまきりの1日を通して、自然の豊かさを感じることができます。



### ピッツアぼうや

ウィリアム・スタイク／作 木坂涼／訳 らんか社

雨のせいで外へ遊びに行けないピートはご機嫌ななめ。お父さんはピートをピッツアに見立てて遊んでくれます。ピッツアが焼きあがる頃には、ピートの機嫌もお天気もすっかり良くなりました。ユーモアあふれるお父さんとの触れ合いを描きます。



### あたまがいけ

日野十成／再話 斎藤隆夫／絵 福音館書店

ものぐさもくべえの頭の上に落ちてきた柿から木が生えて、柿の実がたくさんなりました。もくべえは柿を売って大儲けをしますが、それを妬んだ村人が頭の木を切ってしまう。すると今度は切り株からきのこが生えてきて……。奇想天外な日本の昔話です。



### のりができるまで

北川暢男／写真撮影 伏屋満／監修 ひさかたチャイルド

おにぎりに欠かせない海苔がどのように作られるか知っていますか？漁師さんが海で育てて収穫し、加工され、お店を通して私たちのもとへやってきます。自然の恵みと人の手によって海苔が作られていく様子を、写真で紹介します。